



2019年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年3月13日

上場会社名 株式会社シーアールイー 上場取引所 東
 コード番号 3458 URL https://www.cre-jpn.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀山 忠秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 永浜 英利 TEL 03-5572-6600
 四半期報告書提出予定日 2019年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第2四半期の連結業績（2018年8月1日～2019年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第2四半期	9,712	8.5	469	1.6	401	△13.7	330	40.9
2018年7月期第2四半期	8,953	12.8	462	71.3	464	163.9	234	25.5

(注) 包括利益 2019年7月期第2四半期 174百万円 (△24.7%) 2018年7月期第2四半期 232百万円 (27.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第2四半期	13.25	13.15
2018年7月期第2四半期	9.28	9.09

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年7月期第2四半期	49,835	16,739	33.4
2018年7月期	42,252	16,975	39.9

(参考) 自己資本 2019年7月期第2四半期 16,648百万円 2018年7月期 16,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2019年7月期	—	0.00			
2019年7月期（予想）			—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2018年7月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2019年7月期の連結業績予想（2018年8月1日～2019年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	△4.4	2,100	△34.1	1,900	△38.8	1,300	△38.2	52.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2019年7月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年7月期2Q	26,106,900株	2018年7月期	25,931,000株
② 期末自己株式数	2019年7月期2Q	1,060,051株	2018年7月期	1,059,964株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年7月期2Q	24,940,914株	2018年7月期2Q	25,262,629株

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。発行済株式数（普通株式）につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の継続的な金融政策等を背景に、企業収益や雇用環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国政権による政策運営の不確実性やそれが国際金融市場に及ぼす影響、通商問題等から依然として先行き不透明な状況が続いております。

”世界の人とモノをつなぐ、物流インフラプラットフォーム NO.1 企業グループ”を新事業ビジョンに定め、物流インフラプラットフォームを事業領域とする当社グループ事業におきましては、電子商取引市場の拡大から物流業務を受託する3PLの物流施設の需要は拡大しており、加えて、サプライチェーン・マネジメントの高度化、物流拠点の見直し等により、物流施設の需要は拡大しております。引き続き良好な資金調達環境を背景に、物流不動産市場は成長を続けており、物流施設を投資対象とするJ-REITも年々増えております。

このような事業環境のもと、当社は、2018年12月に株式会社ロジコムを連結子会社化しました。同社は、東大和市を中心とする多摩エリアをマスターリース物件の主たる事業領域としており、当社のマスターリース物件の事業領域とエリア補完の関係となります。これにより安定的な収益が得られる事業基盤を構築するとともに、『ストックビジネスの強化による持続的な企業成長』を推進させてまいります。

不動産管理事業では、高稼働を維持しつつ収益性の向上を目指した結果、2019年1月末時点での管理面積は約143万坪となりました。これにより、マスターリースやプロパティマネジメントを中心とした安定収益を順調に積み上げております。物流投資事業では、今期に売却を計画している物件の建設を竣工に向けて着実に進めると同時に、他の開発プロジェクトにつきましても順次着工してまいります。アセットマネジメント事業では、CREロジスティクスファンド投資法人の受託資産残高の拡大に伴い、本投資法人からの運用に係るストック収益を順調に積み上げております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,712,217千円（前年同期比8.5%増）、営業利益469,848千円（前年同期比1.6%増）、経常利益401,085千円（前年同期比13.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益330,456千円（前年同期比40.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<不動産管理事業>

不動産管理事業につきましては、マスターリース物件が前期に引き続き高い稼働率を維持したこと、管理面積が堅調に推移したことから、安定的に収益が計上されました。一方で、連結子会社化した株式会社ロジコムの株式取得関連費用を計上したことから、売上高は9,328,460千円（前年同期比6.7%増）、営業利益は727,670千円（前年同期比14.6%減）となりました。

<物流投資事業>

物流投資事業につきましては、当社開発物件であるロジスクエア各物件の建設を進めているところであり、竣工物件については賃料収入を一部計上した結果、売上高は42,441千円（前年同期比242.3%増）、営業損失は57,335千円（前年同期は122,801千円の営業損失）となりました。

<アセットマネジメント事業>

アセットマネジメント事業につきましては、CREロジスティクスファンド投資法人のアセットマネジメントファイ等が順調に計上された結果、売上高は353,630千円（前年同期比54.4%増）、営業利益は169,469千円（前年同期比87.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は31,688,015千円となり、前連結会計年度末に比べ3,602,499千円増加いたしました。これは主に物流施設開発用地の取得及び工事代金の支払い等に伴い現金及び預金が3,691,792千円減少した一方、仕掛販売用不動産が6,837,310千円、前払費用が299,578千円増加したことによるものであります。固定資産は18,147,133千円となり、前連結会計年度末に比べ3,980,508千円増加いたしました。これは主に株式会社ロジコムの新規連結等に伴い無形固定資産が1,580,044千円、敷金及び保証金が1,221,472千円、有形固定資産が904,910千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は49,835,149千円となり、前連結会計年度末に比べ7,583,008千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は12,844,861千円となり、前連結会計年度末に比べ2,380,229千円増加いたしました。これは主に買掛金が3,009,473千円減少した一方、短期借入金が4,525,000千円、1年内返済予定の長期借入金が365,806千円、前受収益が286,801千円増加したことによるものであります。固定負債は20,250,487千円となり、前連結会計年度末に比べ5,438,922千円増加いたしました。これは主に長期借入金が3,604,317千円、受入敷金保証金が1,700,009千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は33,095,349千円となり、前連結会計年度末に比べ7,819,152千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は16,739,800千円となり、前連結会計年度末に比べ236,144千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益330,456千円を計上したものの、配当金の支払いが497,420千円あったことに伴い利益剰余金が166,964千円減少したこと、その他有価証券評価差額金が138,866千円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、9,693,197千円となり、前連結会計年度末と比べ3,691,792千円減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、10,142,792千円の資金使用（前年同期比48.2%増）となりました。これは主に、たな卸資産の増加6,772,545千円、仕入債務の減少2,996,588千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、878,178千円の資金使用（前年同期比1.8%増）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出579,092千円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出223,004千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、7,328,929千円の資金獲得（前年同期比277.2%増）となりました。これは主に、配当金の支払額497,402千円により資金が減少し、一方で短期借入れによる収入5,050,000千円、長期借入れによる収入4,191,605千円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月期の業績予想につきましては、2018年9月13日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,384,989	9,693,197
売掛金	356,202	367,912
完成工事未収入金	168,999	195,759
有価証券	112,000	56,000
販売用不動産	5,999,942	6,256,741
仕掛販売用不動産	6,272,182	13,109,493
前払費用	435,572	735,150
その他	1,515,338	1,301,638
貸倒引当金	△159,711	△27,878
流動資産合計	28,085,515	31,688,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,091,963	3,750,030
減価償却累計額	△937,881	△1,764,049
建物及び構築物（純額）	1,154,082	1,985,980
機械装置及び運搬具	355,209	388,924
減価償却累計額	△147,705	△168,006
機械装置及び運搬具（純額）	207,504	220,917
工具、器具及び備品	91,119	99,984
減価償却累計額	△67,785	△73,597
工具、器具及び備品（純額）	23,333	26,387
土地	1,116,385	1,198,835
リース資産	483,926	484,340
減価償却累計額	△205,687	△220,430
リース資産（純額）	278,238	263,909
建設仮勘定	11,574	—
有形固定資産合計	2,791,119	3,696,030
無形固定資産		
のれん	205,201	1,770,035
その他	91,481	106,691
無形固定資産合計	296,682	1,876,726
投資その他の資産		
投資有価証券	6,225,214	6,230,569
破産更生債権等	12,989	45,113
繰延税金資産	293,604	365,778
敷金及び保証金	4,432,522	5,653,995
その他	130,732	315,796
貸倒引当金	△16,239	△36,875
投資その他の資産合計	11,078,823	12,574,377
固定資産合計	14,166,625	18,147,133
資産合計	42,252,141	49,835,149

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,182,243	1,172,770
工事未払金	144,902	188,694
短期借入金	—	4,525,000
1年内返済予定の長期借入金	3,581,613	3,947,419
リース債務	27,375	28,231
未払法人税等	436,612	342,442
預り金	438,037	386,430
前受収益	1,205,707	1,492,509
賞与引当金	42,371	48,368
役員賞与引当金	116,520	—
転貸損失引当金	13,272	97,629
その他	275,976	615,365
流動負債合計	10,464,632	12,844,861
固定負債		
長期借入金	9,094,705	12,699,022
リース債務	344,111	329,959
退職給付に係る負債	240,951	241,157
資産除去債務	138,896	274,822
受入敷金保証金	4,814,418	6,514,428
その他	178,481	191,098
固定負債合計	14,811,564	20,250,487
負債合計	25,276,196	33,095,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,145,976	2,189,141
資本剰余金	3,734,876	3,778,041
利益剰余金	11,886,295	11,719,331
自己株式	△955,107	△955,107
株主資本合計	16,812,040	16,731,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,860	△50,006
繰延ヘッジ損益	△30,250	△21,799
為替換算調整勘定	△8,956	△10,829
その他の包括利益累計額合計	49,653	△82,635
非支配株主持分	114,251	91,028
純資産合計	16,975,944	16,739,800
負債純資産合計	42,252,141	49,835,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
売上高	8,953,707	9,712,217
売上原価	7,218,521	7,630,163
売上総利益	1,735,186	2,082,054
販売費及び一般管理費	1,272,843	1,612,205
営業利益	462,343	469,848
営業外収益		
受取利息	2,553	2,306
持分法による投資利益	64,269	10,510
違約金収入	20,000	—
その他	1,988	16,280
営業外収益合計	88,811	29,097
営業外費用		
支払利息	60,704	71,579
支払手数料	24,551	21,422
その他	1,384	4,858
営業外費用合計	86,640	97,860
経常利益	464,514	401,085
特別利益		
貸倒引当金戻入額	56,000	112,000
その他	1,621	38,821
特別利益合計	57,621	150,821
特別損失		
減損損失	—	13,224
投資有価証券評価損	199,999	—
その他	4,309	1,506
特別損失合計	204,309	14,731
税金等調整前四半期純利益	317,826	537,175
法人税等	83,265	230,165
四半期純利益	234,560	307,010
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△23,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,560	330,456

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年8月1日 至 2018年1月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年8月1日 至 2019年1月31日）
四半期純利益	234,560	307,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	△139,380
為替換算調整勘定	—	4,471
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,447	2,516
その他の包括利益合計	△2,551	△132,392
四半期包括利益	232,009	174,618
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,009	198,168
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△23,550

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	317,826	537,175
減価償却費	80,303	103,048
減損損失	—	13,224
のれん償却額	12,066	43,721
持分法による投資損益（△は益）	△64,269	△10,510
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△47,318	△112,870
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,005	1,406
転貸損失引当金の増減額（△は減少）	3,466	898
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△245,886	△116,520
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△7,227	5,478
受取利息及び受取配当金	△2,620	△2,365
支払利息	60,704	71,579
投資有価証券評価損益（△は益）	199,999	—
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	△1,011	—
売上債権の増減額（△は増加）	△46,753	△18,561
たな卸資産の増減額（△は増加）	△6,227,642	△6,772,545
仕入債務の増減額（△は減少）	1,101,696	△2,996,588
前渡金の増減額（△は増加）	△62,183	345,769
未払消費税等の増減額（△は減少）	△36,753	8,725
敷金及び保証金の増減額（△は増加）	28,369	6,338
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	149,631	25,890
その他	△1,845,073	△818,575
小計	△6,630,669	△9,685,280
利息及び配当金の受取額	2,031	1,041
利息の支払額	△51,266	△62,228
法人税等の支払額	△162,735	△396,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,842,639	△10,142,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△703,999	△223,004
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	58,400	92,058
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△579,092
有形固定資産の取得による支出	△145,521	△149,338
有形固定資産の売却による収入	1,621	—
無形固定資産の取得による支出	△20,767	△25,912
その他	△52,419	7,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△862,686	△878,178

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	5,050,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,068,750
長期借入れによる収入	2,854,291	4,191,605
長期借入金の返済による支出	△435,436	△352,357
リース債務の返済による支出	△11,844	△13,319
ストックオプションの行使による収入	29,400	19,153
自己株式の取得による支出	△240,111	—
配当金の支払額	△253,320	△497,402
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,942,980	7,328,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	249
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,762,346	△3,691,792
現金及び現金同等物の期首残高	14,392,598	13,384,989
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	71,009	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,701,261	9,693,197

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年8月1日 至 2018年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	不動産管理 事業	物流投資 事業	アセット マネジメ ント事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,693,679	11,109	218,286	8,923,075	30,632	8,953,707	—	8,953,707
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	52,514	1,288	10,800	64,603	—	64,603	△64,603	—
計	8,746,193	12,397	229,086	8,987,678	30,632	9,018,311	△64,603	8,953,707
セグメント利益 又は損失 (△)	852,346	△122,801	90,592	820,137	16,864	837,001	△374,658	462,343

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△374,658千円には、セグメント間取引消去4,177千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△378,835千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年8月1日 至 2019年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	不動産管理 事業	物流投資 事業	アセット マネジメ ント事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,315,980	41,117	351,830	9,708,928	3,289	9,712,217	—	9,712,217
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,479	1,323	1,800	15,603	—	15,603	△15,603	—
計	9,328,460	42,441	353,630	9,724,532	3,289	9,727,821	△15,603	9,712,217
セグメント利益 又は損失 (△)	727,670	△57,335	169,469	839,804	△3,702	836,102	△366,253	469,848

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△366,253千円には、セグメント間取引消去△1,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△364,853千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

不動産管理事業セグメントにおいて、株式会社ロジコムを株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において1,590,879千円であります。